

取扱説明書

maxell

プロジェクター専用高天井用取付金具

形名 **HAS-314H**

このたびは、プロジェクター専用高天井用取付金具をお求めいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に、本書とプロジェクターの「取扱説明書」をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくご使用ください。
なお、お読みになった後は、大切に保管してください。

本品はプロジェクター専用の高天井用取付金具です。
本品のみでプロジェクターを天井に吊り下げることができません。
別売の各天吊りブラケットと組み合わせてご使用ください。
画面調整などに関しては、弊社ホームページの下記 URL をご覧ください。

弊社ホームページ：
<https://proj.maxell.co.jp/>



プロジェクター専用高天井用取付金具

形名 **HAS-314H**

このたびは、プロジェクター専用高天井用取付金具をお求めいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に、本書とプロジェクターの「取扱説明書」をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくご使用ください。
なお、お読みになった後は、大切に保管してください。
本品はプロジェクター専用の高天井用取付金具です。本品のみでプロジェクターを天井に吊り下げることができません。
別売の各天吊りブラケットと組み合わせてご使用ください。
本品は伸縮及びケーブルを通すことが可能です。
画面調整などに関しては弊社ホームページの下記 URL をご覧ください。
<https://proj.maxell.co.jp/>

お知らせ

- 本書の内容に関しては、製品の仕様を含め、予告なしに変更することがあります。
- 本書の運用結果については、当社は責任を負いませんので、ご了承ください。

もくじ

表示について.....	1	取り付けの準備.....	4
設置の注意点.....	2	取り付け方法について	5
同梱品の確認.....	2	取り付け方法について (つづき)	6
設置について (下記の注意をお守りください) ..	3	取り付け施工例について.....	8
		仕様.....	9

表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、本書では以下の表示をしています。よくお読みになり、ご理解のうえ、製品をご使用ください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損傷が発生する可能性があります。

設置の注意点



警告

お客様へ

- お客様による設置作業は絶対に行わないでください。設置作業は必ず販売店またはサービス会社にご依頼ください。設置不備、取り扱い不備による事故、損傷については、当社は一切責任を負いませんので予めご了承ください。

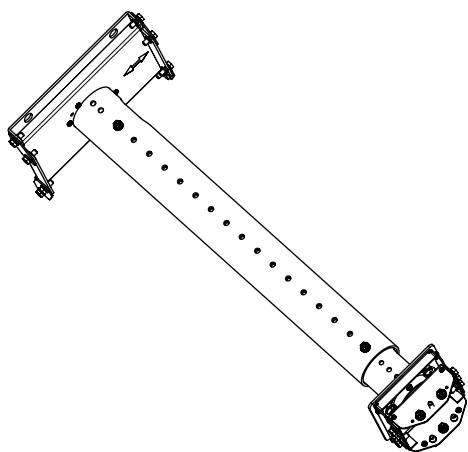
販売店様、工事店様へ

- 設置作業の前には本書と、プロジェクターの「取扱説明書」および「サービスガイド」をよくお読みになり、注意事項は必ず守って、正しく設置を行ってください。
- 所定のネジや固定具は全て確実に取り付けてください。
- プロジェクターおよび高天井用取付金具、天吊りブラケットの荷重に耐えるよう十分注意のうえ、取り付け設計、施工をお願いします。詳細は天吊りブラケット（別売）の取扱説明書をご覧ください。
- 設置作業の前に、必ずプロジェクターの電源をオフにし、電源コードを抜いてください。

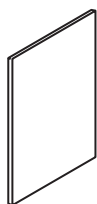
同梱品の確認

箱の中に次のものが同梱されているかご確認ください。万一不足しているものがあれば、すぐに、お買い上げの販売店にご連絡ください。

高天井用取付金具 (HAS-314H)



取扱説明書



高天井用取付金具を天井に取り付けるための締結部材（ボルトなど）は付属しておりません。

取り付ける天井の構造により、プロジェクターおよび高天井用取付金具、天吊りブラケットの荷重に耐えるような、適切な締結部材を選定ください。

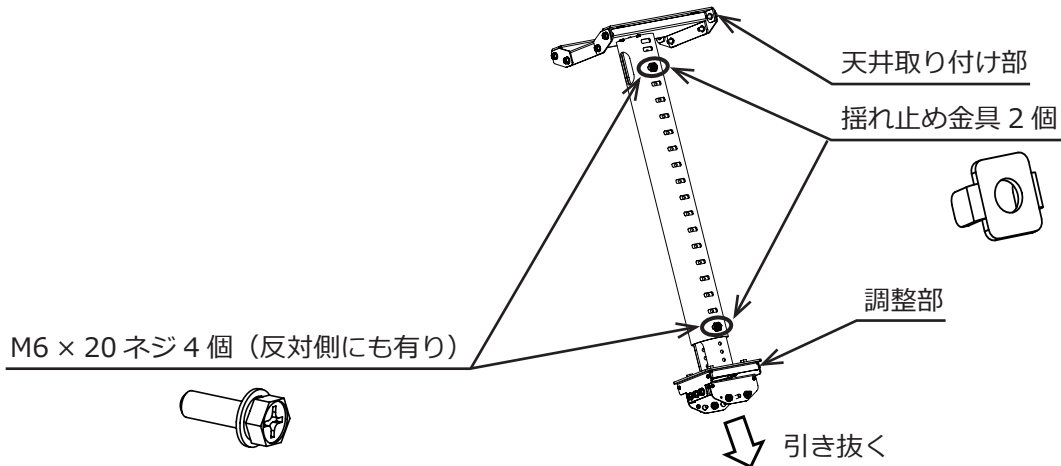
設置について（下記の注意をお守りください）

- 油や薬剤などを使用する以下のような場所に置かないでください。
油煙などにより油が付着し、故障、火災や感電の原因となります。
プラスチックの劣化により破損し、天井、壁や高所設置からの落下によるけが、火災、感電、故障などの原因となります。
 - ・調理台の近くなど、油煙のある場所
 - ・機械油、アロマオイルなどの油を使用する場所
 - ・スモーク、泡などを使用する場所
 - ・溶剤、薬品、洗剤が揮発、付着する場所
 - ・塩害のおそれがある場所
- ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤などを使用しないでください。
プラスチックや金具の劣化により破損し、落下によるけが、火災、感電などの原因となります。

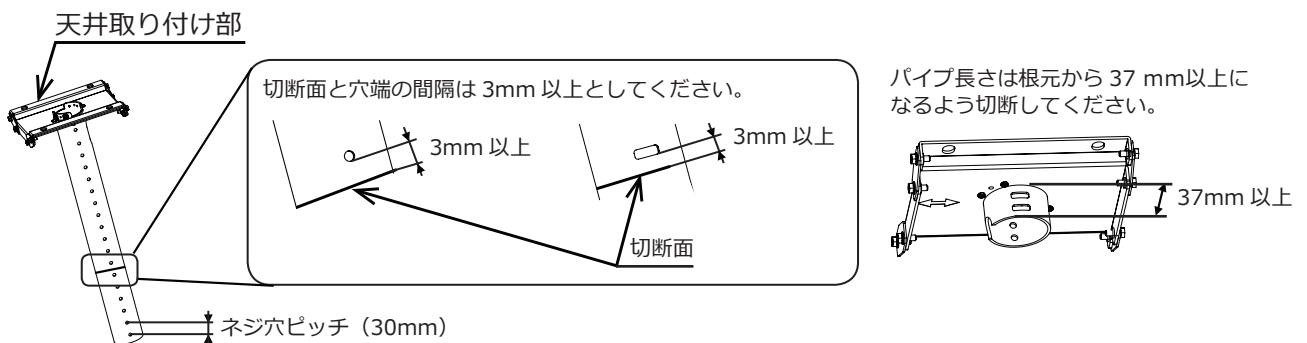
- プロジェクターの保護のために内部の温度が異常上昇すると、温度センサーが働いて電源を切断する場合があります。この異常な温度上昇を避けるため次のようにしてください。
 - ・周囲温度はプロジェクターの取扱説明書に記載の動作温度範囲でご使用願います。
 - ・吸気孔内部のエアーフィルターの定期清掃をしてください。清掃の時期・方法はプロジェクターの取扱説明書をご覧ください。
 - ・ほこりの多い場所では上記の頻度が多くなりますので作業性にご配慮をいただきプロジェクターの設置場所をご選定ください。
 - ・吸気孔や排気孔の風通しをよくするため、プロジェクターの周囲に空間を設けてください。必要な空間は各プロジェクターの取扱説明書をご覧ください。
- たばこのヤニがプロジェクター内部の光学部品に付きますと、表示性能が低下します。たばこの煙が充満する場所に設置しないでください。
- 本機をプロジェクターの取扱説明書に記載した角度以上に傾けて使用しないでください。故障や寿命を縮める原因となります。

取り付けの準備

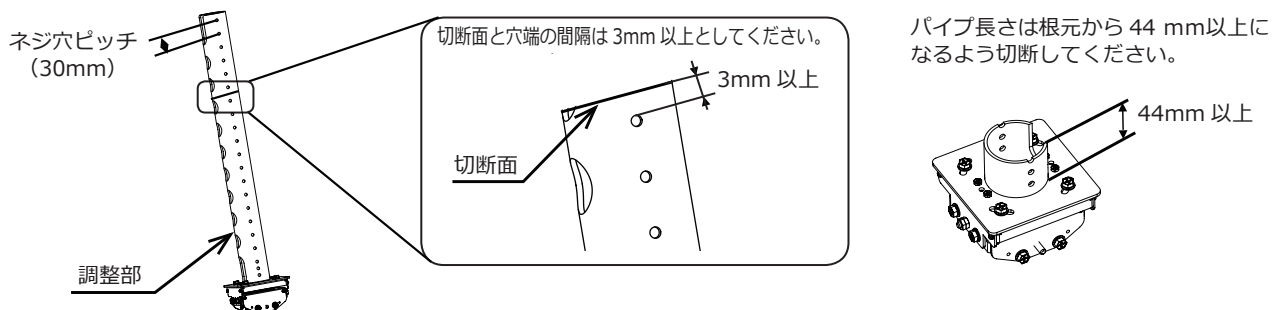
- 1.** 天井取り付け部と調整部を分離します。
- ・ M6 × 20 ネジ 4 個と揺れ止め金具 2 個を外します。
 - ・ 調整部を天井取り付け部から引き抜きます。



- 2.** 天井の高さにより必要な時は、天井取り付け部、調整部のパイプを切断します。
- (※) 高天井用取付金具はパイプを切断しなくても伸縮により高さの調整が可能です。
最も短縮した状態より更に短縮する場合のみ本作業を行ってください。
- ・ 天井取り付け部のパイプを必要な長さに切断します。



- ・ 調整部のパイプを必要な長さに切断します。



【お客様へ】

- 取り付けの準備については特別な技術が必要です。お客様による作業は絶対に行わないでください。取り付け準備作業は必ず販売店またはサービス会社にご依頼ください。設置不備、取り扱い不備による事故、損傷については、当社は一切責任を負いませんので予めご了承ください。



警告

【販売店様、工事店様へ】

- パイプが破損し落下の危険があるため、切断面はパイプ断面と並行になるようにし、切断面と穴端の間隔は 3mm 以上としてください。
- 切断面に触れるとけがのおそれがあるため、切断後、切断面のバリは除去ください。

取り付け方法について

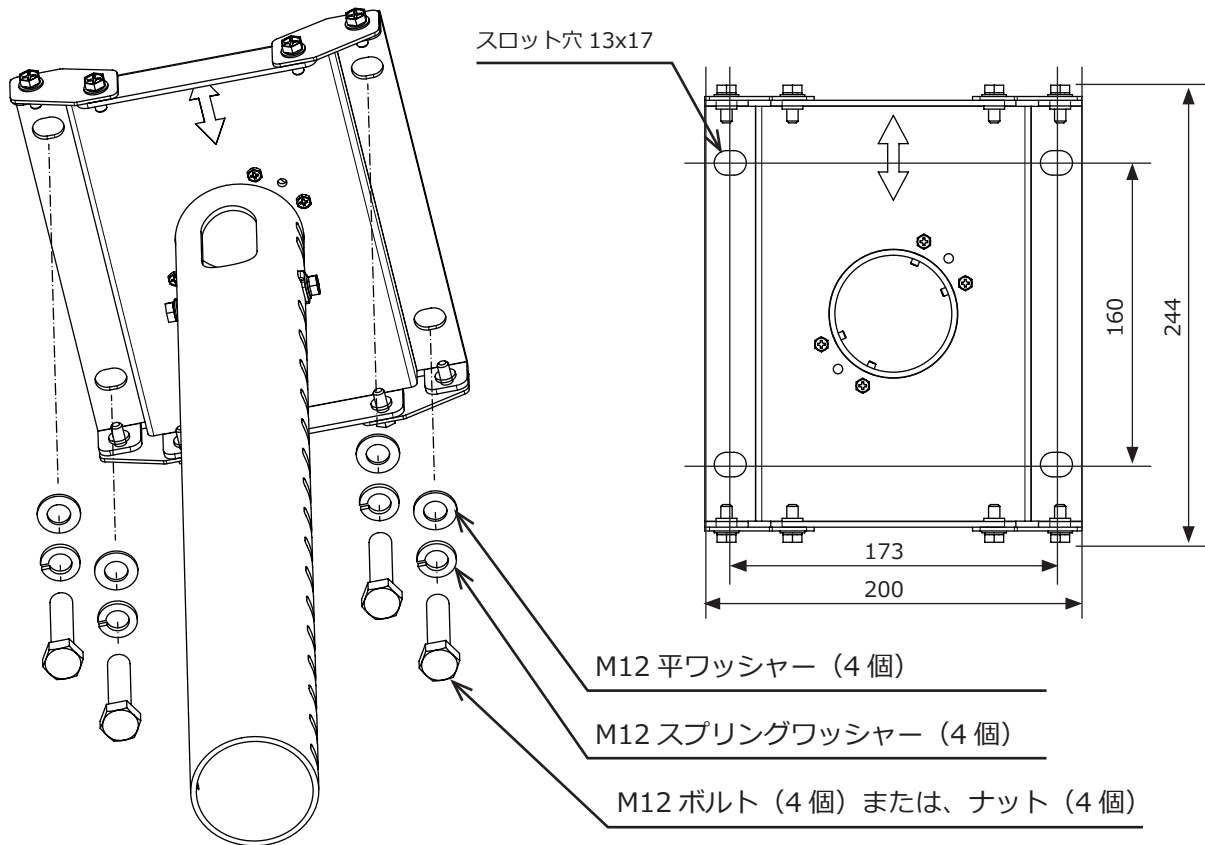
1.

天井取り付け部を天井に取り付けます。

- ・天井固定ボルト穴は、左右位置調整が出来るように長円にしています。
- ・4か所とも仮締めし、位置決めを行った後に4か所をしっかりと締め付けます。
- ・取り付けボルトはM12をお使いください。(取り付けボルトは取り付け方法によって異なります。M12ボルトおよびナット、スプリングワッシャー、平ワッシャーは本品に付属しておりません。工事店とご相談して選定ください。)

矢印をスクリーン方向に向けてください。

前後方向はどちらでも取り付け可能ですが、ケーブルを通す穴は矢印側にあります。



[お客様へ]

■取り付けについては特別な技術が必要です。お客様による作業は一切行わないでください。取り付け作業は必ず販売店またはサービス会社にご依頼ください。設置不備、取り扱い不備による事故、損傷については、当社は一切責任を負いませんので予めご了承ください。

■本製品はプロジェクター専用高天井用取付金具です。(対応機種は、総合カタログおよび弊社ホームページをご覧ください。)

<https://proj.maxell.co.jp/>

他の製品の取り付け等は落下の危険があるため一切行わないでください。当社は一切責任を負いません。



[販売店様、工事店様へ]

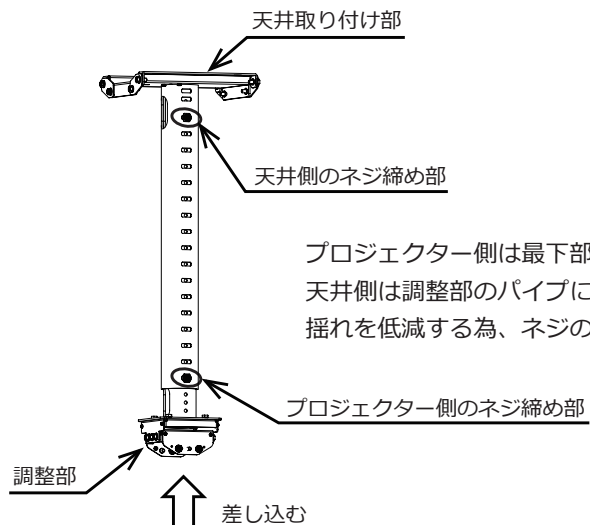
■お客様の安全のため取り付け場所の強度には、プロジェクターおよび高天井用取付金具、天吊りブラケットの荷重に耐えるよう十分注意のうえ、設計施工をお願いいたします。

■各取り付けに際しては、必ず2人以上で行ってください。

■本書で指定されているボルト、ナット、ネジは、落下の危険があるため全数確実に取り付けてください。

取り付け方法について（つづき）

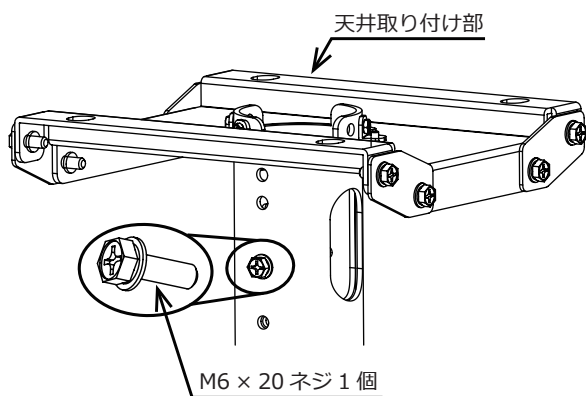
- 2.** 天井取り付け部に調整部を取り付けます。
- 天井に固定した天井取り付け部に調整部を差し込みスクリーンの高さに合わせて、揺れ止め金具 2 個とともに M6 × 20 ネジ 4 個をしっかりと締め付けてください。強度及び安定性を確保するため、必ず揺れ止め金具 2 個、M6 × 20 ネジ 4 個を使用ください。



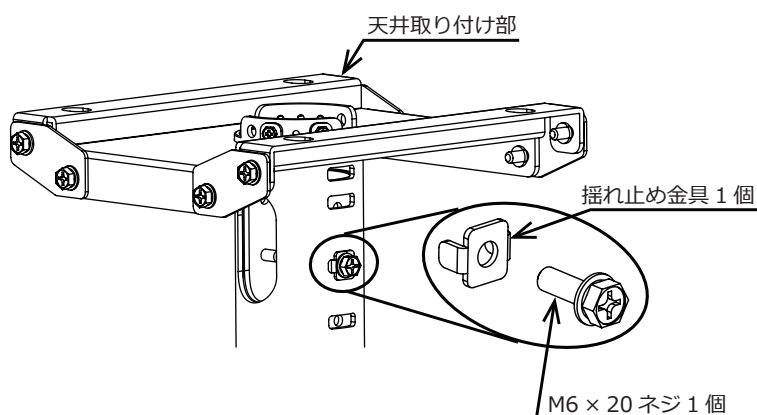
プロジェクター側は最下部のネジ穴をしっかりと締め付けてください。
天井側は調整部のパイプにある最上部のネジ穴をしっかりと締め付けてください。
揺れを低減する為、ネジの間隔は広げてください。

天井側のネジ締め

丸穴は M6 × 20 ネジでしっかりと締め付けてください。

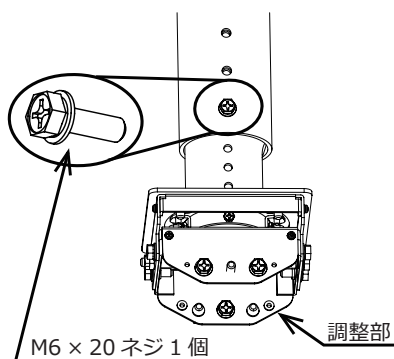


長円穴には揺れ止め金具をはめ込み
M6 × 20 ネジでしっかりと締め付けてください。

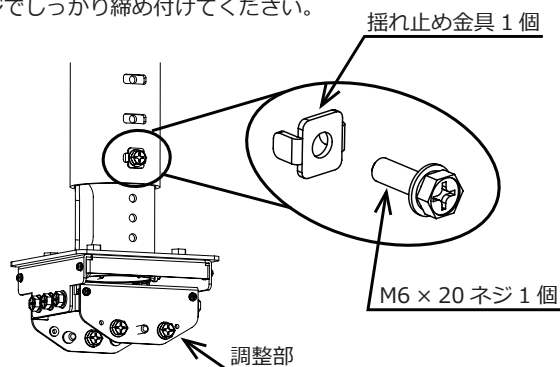


プロジェクター側のネジ締め

丸穴は M6 × 20 ネジでしっかりと締め付けてください。



長円穴には揺れ止め金具をはめ込み
M6 × 20 ネジでしっかりと締め付けてください。



警告

〔お客様へ〕

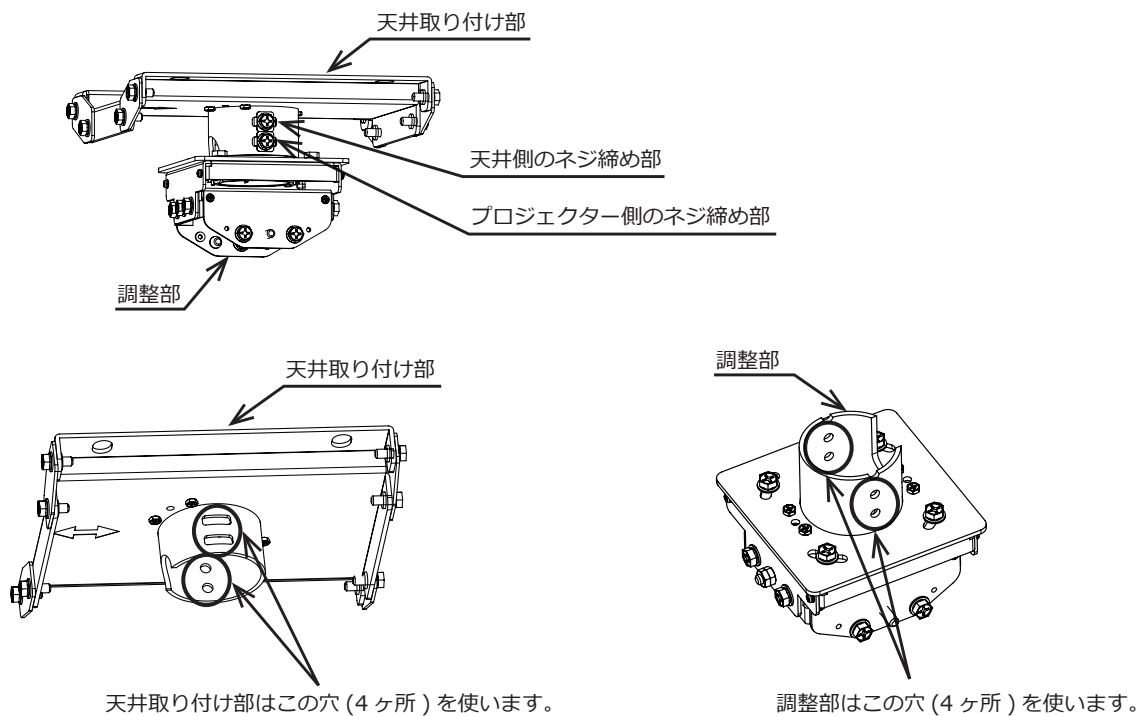
- 取り付けについては特別な技術が必要です。お客様による作業は絶対に行わないでください。

〔販売店様、工事店様へ〕

- 調整部の取り付けは落下の危険がある為、必ず 2 人以上で行ってください。
- 調整部は伸ばしすぎると落下の危険があります。調整部の長さによらず M6 × 20 ネジ 4 本と揺れ止め金具 2 個で固定してください。

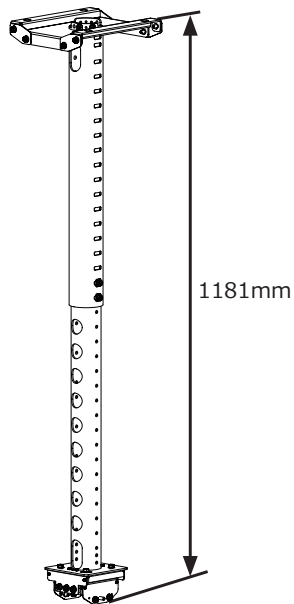
取り付け方法について（つづき）

天井取り付け部及び調整部のパイプを切断し最も短縮したときのネジ穴

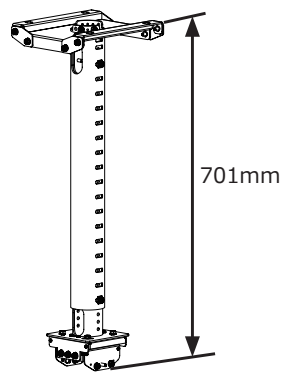


天井取り付け状態

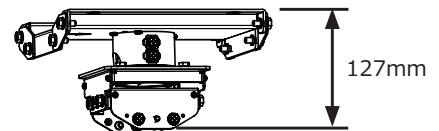
最も伸ばしたとき



最も縮めたとき



天井取り付け部及び調整部のパイプを切断し最も縮めたとき



警告

〔お客様へ〕

- 取り付けについては特別な技術が必要です。お客様による作業は絶対に行わないでください。

〔販売店様、工事店様へ〕

- 調整部の取り付けは落下の危険がある為、必ず2人以上で行ってください。
- 調整部は落下の危険があります。調整部の長さによらず M6 × 20 ネジ 4 本と揺れ止め金具 2 個で固定してください。

取り付け施工例について

本図は施工例を示しております。加工については販売店、工事店に依頼してください。

天井と取付金具との取り付けについては特別な技術が必要です。お客様による工事は一切行わないでください。

警告

- 高天井用取付金具を設置する天井面は、プロジェクターと高天井用取付金具、天吊りブラケットの総合荷重に長期間十分耐え、地震や想定される震動や外力に十分耐える施工を行ってください。誤った取り付けを行なった場合、プロジェクターが落下して傷害の原因になります。
- 強度が不十分な天井面への直接取り付けや、引抜力の信頼性が低い木ネジやアンカーボルトは使用しないでください。
- 高天井用取付金具を天井構造材に取り付けるためのボルト、ネジ類は構造材に合った市販の部品をご使用ください。

天井が木造の場合

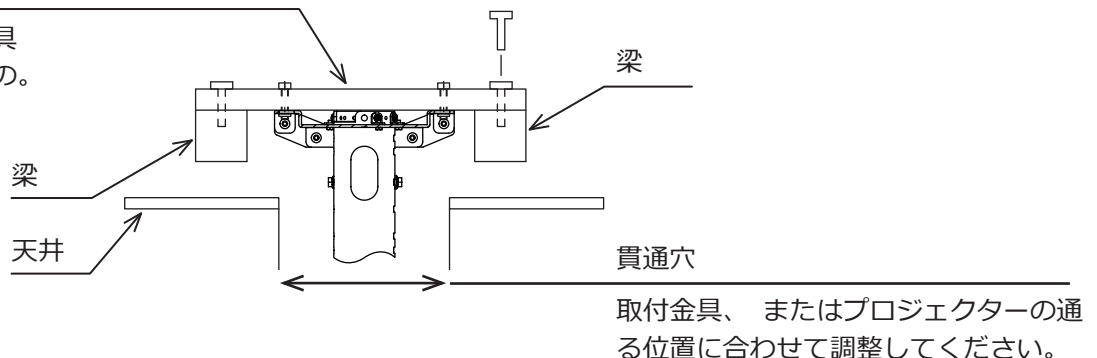
- (1) 取付金具を取り付け板に固定してください。取り付け板には、取付金具の穴位置に合わせ、穴をあけてください。
- (2) 取付金具、または本体が貫通する天井面の位置に穴をあけてください。
- (3) 天井面の穴から、取付金具、またはプロジェクター本体を通し、取り付け板を梁に固定してください。
梁の強度が不足する場合は、工事店または販売店と相談し梁の補強を行ってください。

警告

強度の不十分な木造の天井面への直接取り付けは行わないでください。
また、引き抜きの信頼性の低い木ネジでの取り付けは行わないでください。

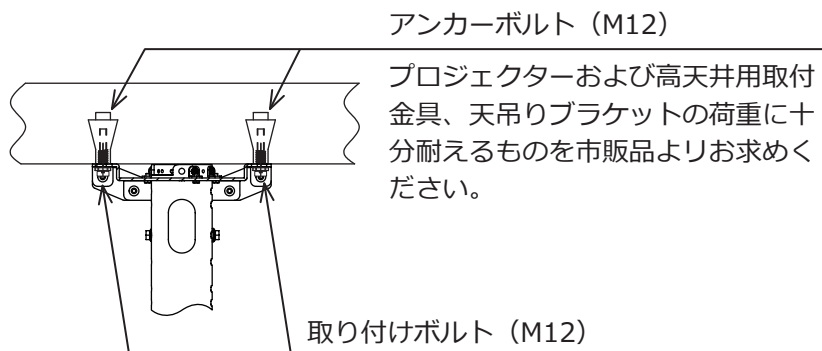
取り付け板

本体および取り付け金具の荷重に十分耐えるもの。



天井がコンクリートの場合

- (1) アンカーボルトを、取付金具の穴位置に合わせ、天井へ打ち込んで、取り付けてください。
- (2) 取付ボルトをねじ込んで、取付金具を固定してください。
- (3) アンカーボルトおよび取付ボルトについてはプロジェクター及び天吊りブラケットにより質量が違いため、組み合わせる天吊ブラケットの取扱説明書の指定荷重以上の強度のものを選定ください。



警告

- 荷重は必ず梁などの堅牢な構造材で受けるようにし、ボルト、スプリングワッシャー、平ワッシャー、ナットで確実に取り付けてください。

仕様

品名	:	高天井用取付金具
形名	:	HAS-314H
外形寸法	:	W244 × D200 × H701 mm (最短) ～ 1181 (最長)
質量	:	約 7.7kg

高天井用取付金具を使用できるプロジェクターの型式および天吊りブラケット（別売り）は
総合カタログおよび弊社ホームページの下記 URL を御覧ください。

<https://proj.maxell.co.jp/>

